

新年を迎えて

農林水産省消費・安全局 農産安全管理課農薬対策室長 ^{すず} ^き ^{のぶ} ^お 鈴 木 伸 男

平成20年を迎え、皆様に新年のお慶びを申し上げます。年始の御挨拶に当たり、本年の農薬行政の情勢についてご説明させていただきます。

まずは、平成18年に施行されたポジティブリスト制度についてです。施行後からこれまでに行われた自治体による国産農産食品の基準値超過の件数については、従来に比べ大きな差は見られておりません。これについては、農薬の適正使用、飛散の防止等に一層の注意を払って頂いた生産者の皆さまのご努力とともに、都道府県、JA、関係団体を中心とした関係者のご指導の成果であると考えているところです。当省による調査においては、当初懸念されたドリフトに起因するものと明確に確認されたものは見られない一方、ある作物で使用した薬剤がタンクやホース内の洗浄が不十分だったため、次の作物で検出された事例や、明らかに使用基準を誤認して散布した事例が散見されます。農薬の散布に当たっては、ラベルの記載事項を毎回確認することなどにより、使用基準の遵守を徹底して頂くようよろしくお願いします。また、ポジティブリスト制度においては、一律基準が適用されているものがあり、これらについて残留基準値の設定要望があります。このことについては、厚生労働省にも同様の要望が寄せられているとのことであり、今後は適用拡大を進めつつ、厚生労働省と連携して残留基準値の設定を進めていきたいと考えています。さらに、水田等で使用された農薬が水系を通じて下流の湖沼などのシジミから検出された事例を受け、魚介類における残留基準値の設定についても要望がなされてきたところですが、これについてはデータの整備された農薬から順次関係府省に評価を依頼しているところであり、クミロンを皮切りに順次、基準値の設定が進められているところです。ただし、残留基準値が設定されたとしても、引き続き、止水管理の徹底、同一薬剤に集中しない農薬の使用管理、漏水防止のための畦畔の適切な管理などが基本であることに変わりはありませんので、引き続き本年も気を緩めることなく対処方よろしくお願いします。

また、ポジティブリスト制度下において生産物を管理していくためには、適正な資材を使用して頂くとともに、生産工程をしっかりと管理していくことが重要です。適正な資材に関しては、昨年末に一部の資材を無登録農薬として取り締まるとともに、疑義資材に係る監視体制の強化を図ったところです。その一貫として農林水産省

のホームページに「農薬目安箱」も設置しましたので、皆様の疑義資材に関する情報提供をお願いします。生産工程の管理にあっては、農薬の使用履歴をきちんと記帳することにより、仮に何らかの問題が生じて影響を最小限に食い止めることが可能となります。国産農産物への消費者の信頼を損なわないためにも、ぜひ前向きに取り組んで頂けるようお願いいたします。

住宅地などにおける農薬使用については、農薬の飛散による住民の方々への健康影響が生じることのないよう事前周知や飛散防止対策の徹底が重要となっています。このため、昨年には環境省と連名での指導通知を发出させて頂きましたが、現場への周知徹底が重要なことから、各地で開催される本指導通知の勉強会で説明を行うなど、積極的に取り組んで行くこととしていますので、このような勉強会を開く際にはご相談願います。

農薬は農業生産を行う上では必要不可欠なものである一方、食品の安全性に関する消費者の不安の理由として、常に上位に挙げられるものです。農薬登録において、その安全性の確保を図るとともに、使用基準を遵守して使用することにより、消費者の皆さまの信頼を得ることが何よりも重要となっています。一旦生じた不信感を払拭するには長い時間を要するので、このようなことのないよう、今一度取り組みを強化したいと考えています。

また、農林水産省では、国際的な動向を十分に把握し、科学的な情報に基づき、リスクの程度を考慮した農薬登録制度となるよう、制度の改善に向けた取り組みを行っています。このため、昨年12月5日に「第1回農薬登録制度に関する懇談会」を開催し、その後随時開催することとしています。既に、規制改革・民間開放推進会議から出された薬効・薬害試験等農薬の登録申請に用いる各種試験成績の一部について、現在の都道府県の農業試験場等の公的機関において試験したものの提出の他、期間短縮を図る観点から、信頼性を確保できる民間機関による試験を認めるなど民間開放の推進に関する施策や、作物残留試験に対するGLP制度の導入に向けた施策に関して意見を頂戴し、今後の施策に反映して参りたいと考えています。平成20年度には、他の課題に対応した施策の決定に向け、この懇談会でご意見を頂戴することとしています。

本年も農薬行政を取り巻く課題は山積しておりますが、一歩ずつ着実に成果を積み上げて参りたいと考えておりますので、関係する皆様方のご支援をよろしくお願いします。